

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年6月14日 (2018.6.14)

【公表番号】特表2017-516264(P2017-516264A)

【公表日】平成29年6月15日 (2017.6.15)

【年通号数】公開・登録公報2017-022

【出願番号】特願2016-566880(P2016-566880)

【国際特許分類】

F 2 1 K 9/235 (2016.01)

F 2 1 K 9/232 (2016.01)

F 2 1 Y 101/00 (2016.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 2 1 K 9/235

F 2 1 K 9/232

F 2 1 Y 101:00 1 0 0

F 2 1 Y 115:10

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月1日 (2018.5.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソケット底部導体を有するソケットに取り付けられるよう構成される照明装置のためのねじ込みタイプの口金であって、前記口金が、

ねじ山の付いた管状エンクロージャであって、前記エンクロージャの第 1 端部及び第 2 端部の間に軸方向に沿って延在するエンクロージャと、

前記照明装置の光源と導電接触しているよう構成されると共に、前記照明装置が前記ソケットに取り付けられるときに前記ソケット底部導体と導電付勢接触をするよう構成される口金底部導体と、

前記ねじ山の付いた管状エンクロージャ及び前記口金底部導体を、互いから電氣的に絶縁する絶縁体とを有し、

前記口金底部導体が、前記口金に部分的に埋め込まれると共に、前記照明装置が前記ソケットに取り付けられるときに、前記口金底部導体が、前記ソケット底部導体との係合に応じて、前記エンクロージャに対して前記軸方向に動けるよう構成される円筒状柔軟薄壁部材を有し、

前記柔軟薄壁部材が、前記絶縁体によって外側被覆されている口金。

【請求項 2】

前記口金底部導体が、前記口金において中央に構成される請求項 1 に記載の口金。

【請求項 3】

前記口金底部導体が、導電ワイヤを介して前記照明装置の前記光源と導電接触している請求項 1 又は 2 に記載の口金。

【請求項 4】

前記口金底部導体が、導電接触ピンを更に有し、前記口金が、前記エンクロージャの前記第 1 端部に取り付けられる絶縁体を更に有し、前記絶縁体が、前記エンクロージャの内

部空間に面する内側部と、前記内部空間に背を向ける外側部と、前記導電接触ピンを受けるためのチャンネルとを持ち、前記チャンネルが、前記外側部から前記絶縁体を通して延在し、前記内部空間に通じ、前記柔軟薄壁部材が、前記内部空間内に構成される請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の口金。

【請求項 5】

前記接触ピンが、前記柔軟薄壁部材に取り付けられる請求項 4 に記載の口金。

【請求項 6】

前記柔軟薄壁部材が、導電材料を有する請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の口金。

【請求項 7】

前記導電ワイヤが、前記柔軟薄壁部材と電気接触している請求項 6 に記載の口金。

【請求項 8】

前記導電ワイヤが、前記接触ピンに取り付けられる請求項 4 又は 5 に記載の口金。

【請求項 9】

前記口金が、前記エンクロージャの前記第 1 端部に取り付けられる絶縁体を更に有し、前記絶縁体が、前記エンクロージャの内部空間に面する内側部と、前記内部空間に背を向ける外側部とを持ち、前記柔軟薄壁部材が、前記絶縁体の前記外側部に構成される請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の口金。

【請求項 10】

前記口金が、シェルを更に有し、前記シェルにおいて、前記柔軟薄壁部材が形成される請求項 9 に記載の口金。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載の口金と、前記口金上に構成される照明モジュールとを有する照明装置。